

震災遺児の心をケア

仙台の研究会が実施

「仙台グリーンケア研究会」(代表〓滑川明男・仙台市立病院救命救急部長)は、震災遺児らの心をケアする「小中学生のためのワンデイプログラム」を仙台市で開いている。身近な人を震災や病気で亡くした小中学生同士が、体験を語り合ったり絵を描いたりしながら、悲しみを分かち合い、心を軽くしていく。

同研究会メンバーで、仙台青葉学院短大講師の高橋

聡美さん(精神看護)は「一人で寂しい気持ちを抱えている子ども、きっと同じ気持ちをかちあえる友達と出会えるとと思う」と参加を呼びかけている。

参加は予約制で無料。今後は11月19日、12月17日に同市若林区五橋の同短大を会場に予定している。県外からの参加には交通費を支給する。来年以降の進行役ボランティア「ファシリテーター」も募集して

いる。

問い合わせは同研究会
(070・5548・21
86)へ。